



平和のばら保育園聖母祭 5月19日



発行

カトリック浦頭教会
 広報委員会
 五島市平蔵町2716
 TEL 0959-00072
 印刷・(株)才津印刷所

島のひかり ホームページアドレス <http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>

奇跡について

主任司祭 小瀬良明

(前号につづく)

- ⑥口、手、耳の不自由な人
 一口のきけない人を回復させる。
 一手の不自由な人をいやされる。
- ⑦水腫
 水腫の患者をいやされる。
- ⑧種々の奇跡
 種々の奇跡を行なわれる。
 また、ゲネザレ地方の病人をいやされる。
- ㊦使徒たちの奇跡
 多くのしるしや不思議なことが使徒たちの手によって民の間で行なわれた(使徒行録5の12)
- ①ペトロの奇跡
 足の不自由な人をいやす。
 中風の人をいやす。
- ②パウロの奇跡
 ルステラで足の不自由な人をいやす。またパウロ自身

まむしにおそわれたが害を受けなかった。

聖書には多くの病気に對する癒しの記述がある。これをどのように受け止めるかは私たち一人一人の信仰にかかっている。また病気で苦しむ人々と出会う時、少しでもその苦しみをやわらげてあげたいと思う。そんな時、奇跡を行なうことが出来るならと聖書を思い出す。

ルルドでの奇跡、その他多くの奇跡を教会が公けに宣言する時、信仰者の一人として奇跡を信じる。

五月になって、信仰教育委員会の役員が正式に決まりましたので報告いたします。

信仰教育委員会

- 委員長 鍋内 秀喜
- 副委員長 木口 北斗
- 会計 鍋内 総長

祝!! 金祝・銀祝



梅雨の真っ只中、台風が発生と進路が五島の真上を通過するとの予報で、天候が危ぶまれた七月一日。当日は雨は降らず、心地よい風が吹く穏やかな日となった。

昨年引き続き、今年も小教区出身者内で御祝いがあった。川口清神父様（金祝）、赤尾満治神父様（銀祝）の御両名でした。十一時より、浦頭教会にて祝賀ミサ・祝賀式が行われました。



説教は前半・川口神父様。数字の十三がラッキーナンバーであり、松下佐吉神父様の指導により十三才で神学生となり、十三番目の浦頭出身司祭となった。十三の教会にて司牧活動をし、七十二歳で引退。現在は新たな神学生の発掘に御尽力されています。

後半は赤尾神父様。故郷への思いを語られました。五島へ帰省することを聞きつけた地域の方々からは、色々と神父様に食べさせて下さいと食

材が実家に届けられて、毎回ごちそうになられていたそうです。何度か辞めたいと思う時もありましたが、今日まで続けてこられたのは地域の方の励ましや、思いに助けられたとの事でした。祝賀式では中学生からの花束、青年会からの霊的花束・御祝い金を御贈り、聖歌を捧げて、ミサ後に集合写真を撮りました。



説教される川口神父様





感謝式にて



説教される赤尾神父様

祝賀ミサ・祝賀会には、去年金祝を迎えられた崎浜神父様も駆けつけて下さいました。

小瀬良神父様の御祝いの言葉、崎浜神父様の乾杯の挨拶にて会がスタート!!

数多くの出席者と御両名は、久しい再会に思い出等で話が弾んでいました。

会の途中で、小学生とカテキスタのシスターによる歌の出し物。『イエス様と同じように』という、赤尾神父様の作詞・作



子ども達から歌と似顔絵のプレゼント



曲の曲を選曲して歌われました。心に響く歌声と歌詞により、会は大いに盛り上がりました。その後、御両名に似顔絵のプレゼント。大変、良く描けていました。

長く司祭生活を続ける中で、数多くの喜びや思い悩む事があったと思いますが、こうして一緒に迎えられることに感謝します。健康に気を付けて、今後ますますの御活躍を御祈りします。

奥浦慈恵院

恒例夜市

七月十五日、午後五時より毎年恒例の夜市が行なわれた。

この日は、猛暑に見舞われ、出店の、特にタコ焼屋さん、大変な拷問だったと思います。他に様々な出店が出揃い、地元の人々は勿論、福江からも大勢詰め掛け、大変な賑いを見せた。何と言ってもメインは抽選会、番号を呼ばれる度に、歓声が上がります。当たる人、当たらない人、抽選前に帰った人と様々だったが、楽しい一時を過ごした。ありがとうございました。

小学生黙想会

七月十六日、下五島地区黙想会が行なわれた。堂崎教会に集合、そこから浦頭教会まで歩き休憩。車で福江教会に向かい、黙想会が本格的に行なわれた。感想文については、十月の島のひかりに掲載いたします。

トマス・アケイナス前田万葉大司教 枢機卿に選ばれる



前田万葉大司教

教皇フランシスコは、五月二十日の正午、バチカン・サンピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「アレルヤの祈り」を祈る際、十四人の枢機卿を親任することを発表した。親任のための枢機卿会議は六月二十八日に、ミサは翌二十九日に行なわれました。日本からは、前田万葉大司教が選ばれ、日本人として六人目の枢機卿となります。歴代の日本人の枢機卿は、白柳枢機卿が亡くなってから、日本は枢機卿不在となっていました。今回、前田新枢機卿を迎えることで、九年ぶりに日本にも枢機卿が誕生することになる。

【歴代枢機卿】

- 1、土井辰雄（東京大司教、枢機卿在任は一九六〇～七〇）
- 2、田口芳五郎（大阪大司教、一九七三～七八）
- 3、里脇浅次郎（長崎大司教、一九七九～九六）
- 4、白柳誠一（東京大司教、一九九四～二〇〇九）
- 5、濱尾文郎（教皇庁移住、移動者司牧評議会議長、二〇〇三～〇七）

【前田万葉枢機卿略歴】

- 一九四九年三月三日、長崎県南松浦郡新上五島町仲知に生まれる。
- 一九七五年三月、司祭叙階
 - 二〇〇一年六月、広島司教
 - 二〇〇一年九月、司教叙階
 - 二〇一四年八月、（大阪教区大司教）
 - 二〇一四年九月、（着座）
 - 二〇一八年五月、（枢機卿）

結婚のお恵みに感謝して 川口広平・瑞希

この度、四月二十九日に浦頭教会にて、私たち川口広平・瑞希（旧姓 鍋内）のために結婚の秘跡を授けて下さいました小瀬良神父様、諫早からお越しくださいりお言葉頂きました岩崎神父様をはじめ、結婚式にあたり様々なご支援を下さいました奥浦の先輩方、そして当日参列して下さいました信徒の皆様、聖歌隊の皆様にご心より感謝いたします。

当日は天候にも恵まれ、二人



が生まれ育った教会で聖歌隊の素晴らしい歌声に心を震わせながら、岩崎神父様のお話や皆さんの温かい祝福の中、結婚の誓いを交わすことができた事、その後の披露宴ではユーモアな余興があるなど、様々な形でお祝いをして頂き、楽しい時間を過ごした事は、私たち二人にとって幸せな一日となりました。

皆様から頂いた祝福のお気持ちを胸に、これからの二人の人生に生かしていきます。私たちは現在、福江にアパートを借りて生活しております。一緒に生活を始めて二ヶ月余りになりましたが、二人とも仕事をしながらの生活ですので、お互いを尊重して助け合っていく大切さを感じております。これから、皆さんにはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、その時は温かく見守っていただき、時にはアドバイスを頂けると幸いです。

中村長八神父様の 生涯を追って⑤

中村神父の布教活動の範囲となったサンパウロ州の境に、アリアンサという植民地がある。

この話は、その地を彼が巡って行った時の話である。

滞在四日目の朝、そこを立つて山越えして、次の植民地へ行くこうと身支度をしている所へ宿のあるじが来て、「神父様！馬はみんな出払ってしまつて、けさは一頭も都合がつかないそうですよ。今日一日お待ちになつてはいかがですか。馬は夕方には戻ってくるそうなので、明日の朝お立ちになつては。」

しかし、神父は仕度が出来るかと立ち上がり、「今日という日は二度と帰って来ないのだから、まあ出掛けるとして、行ける所まで行きましょう。また会う日まで皆さんお達者で。」

見送りの人達にそう言い残し、左右分れた左側に進んで行った。そちらの方に民家はなかった。

ずと思つた地元の人達は、口々に「あの道を行つたつて家なんかありはしない。」すると、宿のあるじが大声で「神父様、そちらに行かれても人家はありませんよ。」

中村神父は「わしの会いたい人は、あんな方のように、立派な植民地に住んで毎日の新聞を読める様な人達じゃなく、人里離れた山奥に入って、ろくに新聞も読めず、人の話も聞けないような人達ですよ。この道を行けば、そういう人達の三人や五人はきつと会えるでしょう。人はたとえ野にいようが、山にいようが、いつも神様の大きなふところの中に抱かれてる事を忘れてはいけません。それではみんなお達者で。」

彼は、家がなければ野宿して、ひもじければいつも手に提げていた袋の中の梅干しを口に入れ、着物が茨に引っかかって破れば、古びた鞆の中の針と糸を操って修復する。それが神父様のやり方であった。

井持浦ルルド祭

若葉薫る五月十三日、井持浦ルルド祭が行なわれた。

前日には、各教会より草刈り作業等で準備万端にもかかわらず、当日は雨。努力の甲斐もなく、堂内でのルルド祭ミサとなった。いつも通り花まき隊、ロザリオ先唱、献花、聖歌隊、聖歌先唱など浦頭の役割は大きい。

ミサは、福江教会の中村神父様の司式で進んで行き、説教は浦頭教会の小瀬良神父様で、子どもから大人まで大変わかりやすい説教でした。雨のため聖母行列は出来なかったが、人生いつも晴れの日はかりじゃないです。神に感謝。



ついに
決定!!

世界遺産

六月三十日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産への登録を決めました。

二〇〇一年に民間の「長崎の教会群を世界遺産にする会」が発足して以来、幾多の曲折を経て、長年の夢が実現しました。

登録までには、他の産業遺産との推薦調整、ユネスコの諮問機関「イコモス」の現地調査等に中間報告を受けての推薦取り下げがありました。

それは、カトリックが弾圧を受けて、潜伏キリシタンとなり、信徒発見までに至る二百五十年の壮絶な歴史とは違う意味の忍耐と雌伏の時を待つ、そんな時だったのかも知れません。

イコモスの「禁教期に焦点を当てるべき」の指摘を受け、禁教期の十二資産に絞り込んで名称変更。五島市では、旧五輪教会、江上天主堂等が含まれます。

奥浦修道院に 赴任して

『合言葉』

教会学校の一、二年生クラスには合言葉がある。昇天の時、イエス様が弟子たちに残した最後の御言葉だ。教室に出入りする時、必ず言わねばならない。合言葉にしよう、と言い出したのは二年生。最初はたどたどしかったのが、今ではまるで早口言葉。時に忘れてしまう先輩と入口に戻る。急ぐあまりに言葉を抜かしてしまうことも。「わたしは世の終わりにまであなたがたと共にいる!」「いつも“も”だよ」その度に“いつも”なんだと気付かされる。子どもたちと関わる時、予想外の反応もしばしばで、教えられることも多い。そもそも合言葉にしようとは思ひもなかったのに、けいこの度に八回はこの御言葉を聞くことになる。その度に、イエス様の近くに連れ戻される

気がする。イエス様を近くに感じる合言葉。ご家庭でもいかがでしょうか。

シスター 岩崎しのぶ

『背筋を伸ばして』

個人的な話だが、私は猫背だ。一日の内、何度も背筋を伸ばす動作をしている。私の猫背を見て背筋を伸ばしている人を見た時は、苦笑せざるを得ない。さて、浦頭教会の子どもたち特に侍者は行儀がよいと思いつながら眺めている。当番を守る事にも感心しているが、侍者服を着てしっかり奉仕している姿は、気持ちが良いなあと感じている。信者の皆さんも、ミサにのぞむ姿が丁寧で自分のふるまいを反省することしきり。ごく自然に行っているので習慣になっていくとは思いますが、姿勢とは心の表れだと思うので、やはり大切だと思う。特にミサの中では立つ座る、礼をする、うたう、声を出して祈る、黙して祈る。どれをとっても心の表れ、態度とし

て典礼の一部である。教会全体に流れる雰囲気溶け込みつつ、背筋を伸ばして皆さんと心を一つに、神さまへ賛美と感謝をささげていきたいと思う。

シスター 江口 しの

平和のぼら保育園聖母祭

「あーめーのきーさーき、てーんーのもーん」元気な園児達の声が園庭に広がる。

「アーヴェ、アーヴェ、アーヴェ、マリーア」アーヴェマリアの歌に合わせ、白いドレスの女の子達がマリア様に花びらの祝福の雨を降らせ、男の子達は手を合わせ緊張したような凛々しい表情で見守っている。

十字架を先頭に神父様、マリア様と続き、その後を制服に身を包んだ園児、小学生と、心配そうに我が子達を見守る親御さんやおじいちゃん、おばあちゃんが行列を作り行進をする。

五月十九日、天候にも恵まれ、毎年恒例の平和のぼら保育園聖

母祭が開催されました。制服を着る数少ない機会。保護者の方々も我が子、我が孫の晴れ姿を見ようと集まられ、盛大な行列行進となりました。

行進が終わり舞台はホールへ移り、園児が一人一人献花を行いました。その後、神父様のちょっとした長い話を辛抱強く聞き、ばら組、ひまわり組、すみれ組それぞれ組全員で、声を揃えて共同祈願を行って、無事に聖母祭は終わりました。

ちゃんと練習通りに出来るかどうか、ハラハラしながら見ていましたが、上手に出来ている我が子を見ながら、成長を実感する事が出来ました。先生方のすばらしい御指導に感謝します。



新たに会計 となりました

長年に渡り、島のひかりの会計として活躍されて来られた赤尾淳さんの勇退に伴い、今年度より新たに会計となりました、木口誠也です。

まだ島のひかり委員になって日も浅く、私が物心ついた頃から続く歴史のある島のひかり。運営にも深く携わる会計の役目は、私には荷が重いのではと考え辞退しようと思いましたが、委員長をはじめ、他の委員の方々の応援もあり、頑張って会計の役を全うしようと思いました。発刊から二百号を越える島のひかり。浦頭教区の大事な情報発信源を、これからも継続させていけるように、スムーズな運営を心がけ頑張っております。これから、宜しくお願い致します。

木口 誠也

屋上防水工事を終えて

「雨漏りしています。」とスターから連絡が。またか、という思いで見に行くと、一階のオルガン付近に雨漏りの跡が。来年（二〇一九年）、五〇周年を迎えるこの教会。最近は、毎年、毎年、補修や修理の連続です。これまでも、何回か部分的な改修を行なってきましたが、今回は思いきって屋上半分の防水工事を行いました。漏水の關係で内壁も傷んでいたの、このまま落ち着いてくれればと願っています。

五〇周年までには、内も外もきれいな状態で迎える事ができればと思っています。工事中は駐車場が手狭になったり、通行しにくかったりと、ご迷惑をおかけいたしました。無事、終える事ができました。ありがとうございました。



“ありがとう”

皆様、蒸し暑くすっきりしない天気が続いておりますが、如何お過ごしでしょうか。今回も次の方々より、温かい御支援、御芳志を頂きました。心より感謝申し上げます。

- 福江 赤尾 守様
- 神奈川 Sr大川 ヨシノ様
- 東京都 辻 奈津代様
- 福江 赤尾 輝幸様
- 長崎市 崎 浜 宏美神父様

秘 跡

《結婚》

四月二十九日

ミカエル 川口広平(浦頭)
テレジア 鍋内瑞希(南河原)

《永眠》

六月十日

ラウレンシオ
山本 利男 八十六歳 堂崎

おたより

主の平和
いつも「島のひかり」お送り頂き感謝申し上げます。
浦頭教会の主任神父様、信徒の皆様の信仰とお祈りを、日々感謝いたしております。
ふるさとのお便りがなつかしく、五島をはなれている者の喜び、支えとなっています。
信仰に結ばれて浦頭教会の皆様のため、お祈りいたしました。ありがとうございます。
神奈川県 Sr大川ヨシノ

台風七号直撃

数年ぶりに、台風が五島にまともに向かって来る。嵐の前の静けさが辺りを包んでいたのも束の間。急激に横殴りの雨が地面をたたきつけ、人までを飛ばしてしまおうような大風が吹き荒れ、県道に寄り添うように立っていた木々が折られ倒れて、いたる所にいろんな物を残して去っていった。やはり台風は怖い！につきる…。

ふるさとだより

奥中頑張る!!

五月二十七日、福江中学校体育館に於いてバレーボールの競技が行なわれた。熱の入った応援の中、男子は翁頭中と戦い見事ストレート勝ちで優勝を果たした。女子は惜しくも、三井楽中にはストレート勝ちしたものの、富江中に惜しくも二対一で敗れた。



又、六月十日には、中央公園陸上競技場に於いて、陸上大会が行なわれ二十一種目に入賞を果たした。

梅雨晴れに 賑わいの畔にて

六月二日、奥小・奥中の子供達のほとんどが集まり、第七回蛍鑑賞会が行なわれた。

当日は、夕方五時から蛍カゴ作りも行なわれた。子供達は二回目にあたる事から、見事なカゴが続々完成。

鏡瀬ビクターセンターの職員の出口さんの説明で、五島の螢は新種の可能性が高いこと等が説明され、子供達の興味も俄然ヒートアップ！螢の光が自前のカゴをほのかに灯した。



熱いぜ！鉄人レース

バラモンキング

2018

六月十七日(日)、毎年恒例のバラモンキングが開催された。

朝七時、スイムからスタートし、バイク、ランと続けて行い、時間内にゴールしないと失格となる過酷なレース。"ラン"は外濠公園から堂崎の折り返しがコースとなる。私達は沿道に駆けつけ応援した。今年も我が小教区の木口北斗さんも参加。タイム、順位共に好成績を収め、走る姿に余裕さえ感じられた。"マッチ"こと近藤真彦さんも二年ぶりに参戦し、大会を盛り上げた。



家族が応援に駆けつけた。
お父さん頑張ってる！

編集後記

四年に一度のサッカーワールドカップ・ロシア大会が開催されています。日本代表は、前評判では厳しい言葉で評価されましたが、予想を覆す戦いを連日続けていました。選手の全カプレーや歴史的勝利を見ていると、応援したり感動する場面が多々ありました。個人的には個々の選手の活躍も目を見張りましたが、チームとしてのまとまりの方が感慨深かったです。六月三十日、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産への登録が決定しました。二世紀以上に亘る先人たちの命をかけた信仰が、現在の私達の土台にあります。少子高齢化・過疎化等により、離島では年々目に見えて信徒の数が減少しており、教会維持が厳しくなっております。信仰の自由な現代において、信徒・共同体・地域として、どうしていくべきか早急に考え、まとまっていければ。

入口 信